

(様式 1-3)

久慈市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	46	事業名	産地販売促進施設整備事業		事業番号	C-2-1
交付団体	市		事業実施主体 (直接/間接)		市 (直接)	
総交付対象事業費	44,585 (千円)		全体事業費		117,631 (千円)	
事業概要						
<p>東日本大震災により流出した半崎地区の産地形成促進施設、通称「もぐらんぴあレストショップ」を再建し、観光客に地場産品の良さを発信し、地域資源の活用とPRをおこない、地域間交流の拠点として交流人口の拡大を図る。</p> <p>かつて、「もぐらんぴあレストショップ」は、同じく津波により被災した久慈地下水族科学館「もぐらんぴあ」と隣接していたところであるが、文部科学省の公立社会教育施設災害復旧事業により「もぐらんぴあ」の再整備が行われることとなったことから、これに合わせ「もぐらんぴあレストショップ」の機能を有する新たな販売促進施設を、複合型の施設として整備しようとするものである。</p> <p>なお、当事業による施設整備のほか、復興まちづくり支援施設等整備事業により同じ建物に防災教育施設 (被災状況等の展示) を整備する。</p>						
【施設規模】						
地上 5 階建て (文科省 : 1 F、3 F、5 F 復興まちづくり支援施設 : 4 F 農山漁村活性化プロジェクト支援 (復興対策) 事業 : 2 F) ※階の配置については、利用者の利便性等を考慮し配置						
延べ床面積 1,280 m ² 程度						
【整備概要】						
管理棟主体工事等 (2 F 分) 100,411 千円						
施設内設備等 17,220 千円						
<p>なお、販売促進施設は、半崎地区に整備することを予定している。</p> <p>当該事業は、「久慈市復興計画」P34 に以下のとおり記載されているところ。</p> <p>「山・里・海の暮らしや、郷土料理、伝統文化等を積極的に情報発信し、農山漁村と都市との交流を深めます。」</p>						
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください						
当面の事業概要						
<平成 24 年度>						
・地盤調査、設計、本体工事						
<平成 25 年度>						
・本体工事						
東日本大震災の被害との関係						
<p>東日本大震災による津波により、地域資源の活用とPRを目的に整備したレストラン一体型の販売促進施設である産地形成促進施設、通称「もぐらんぴあレストショップ」が流出したところである。また、福島第一原子力発電所事故の影響により、原木シイタケ取引価格は 30% 以上下落するなど、地域の農林水産物は風評被害に晒され、厳しい経営を余儀なくされ</p>						

ている現状にある。

このため、これまで地場産品販売等の核であった当該販売促進施設を再整備し、更に農林水産物及び山村・漁村文化等を理解していただける機能を付け加え、一層の交流人口の拡大及び地域経済等の活性化を図る。

※区域の被害状況も記載して下さい。

関連する災害復旧事業の概要

公立社会教育施設災害復旧事業（補助率 2 / 3）

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号

事業名

交付団体

基幹事業との関連性

(様式 1-3)

久慈市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	47	事業名	広美町地区道路整備事業 (仮称長小通り 2 号線)	事業番号	D-1-13
交付団体	市	事業実施主体 (直接/間接)	久慈市 (直接)		
総交付対象事業費	39,800 (千円)	全体事業費	94,300 (千円)		
事業概要					
<p>津波により浸水被害を受けた長内小学校周辺からの避難道路となる (仮称) 長小通り 2 号線の整備を行う。</p> <p>現行の避難経路は、カーブが多い、幅員が狭小等の問題点があることから、避難所までの最短のルートとして、延長 430m の 1 車線道路の改築及び新設の整備を行い、災害時の避難道路として交通の円滑化及び安全を確保しようとするものである。</p> <p>なお、長内小学校には約 270 人の児童がいるが、現在の避難経路では全員が避難所に着くまでに約 20 分間を要するが、本路線の整備により約 5 分間の短縮が見込まれる。</p>					
久慈市復興計画 第 5 章 第 4 節 ⑦ 道路の整備 P48 『避難道路の整備を図り、災害時の避難体制の充実を図る』					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度> 地域の合意形成、調査測量設計、交差点協議、用地買収及び補償、道路整備工事</p> <p><平成 25 年度> 交差点協議、用地買収及び補償、道路整備工事</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災津波により、長内小学校は浸水被害 (一部損壊) を受けたが、今回は干潮時のため、比較的被害が少なく済んだところである。ただし、今次津波で満潮時のシミュレーションでは、浸水深 2m の結果となっており、早急な津波避難対策が必要であり、最短ルートでの安全な避難道路の早期整備が必要な状況である。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

久慈市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	48	事業名	大湊地区道路整備事業 (仮称大湊北通り線)	事業番号	D-1-14
交付団体	市	事業実施主体 (直接/間接)	久慈市 (直接)		
総交付対象事業費	40,600 (千円)	全体事業費	59,600 (千円)		
事業概要					
<p>津波により甚大な被害を受けたことに伴い、漁業集落防災機能強化事業により集団移転を行う久慈湊・大崎地区の 1 部エリアについて、避難場所へのアクセス道路及び避難道路となる (仮称) 大湊北通り線の整備を行う。</p> <p>本路線は、避難場所へのアクセス道路であり、また災害時の避難道路であるが幅員が狭小であり、災害時における住民の緊急避難や、緊急車両の通行に支障をきたしていることから延長 180m の 1 車線道路の改築を行うものである。</p>					
久慈市復興計画 第 5 章 第 4 節 ⑦ 道路の整備 P48 『避難道路の整備を図り、災害時の避難体制の充実を図る』					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度> 地域の合意形成、調査測量設計、河川堤防取り付け協議、用地買収及び補償、道路整備工事</p> <p><平成 25 年度> 河川堤防取り付け協議、用地買収及び補償、道路整備工事</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>本路線沿線には 10 棟の建物があり、うち東日本大震災で 9 棟の津波被害があった。今回は干潮時のため、一部損壊、半壊等、比較的被害の程度が小さかったところであるが、今次津波で満潮時のシミュレーションでは、浸水深 2m の結果となっており、より大きな津波被害が懸念される地区である。被災した住宅等は、いずれも現地での再建となるが、災害時には、避難所へ円滑に避難できるよう整備が必要である。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

久慈市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	49	事業名	復興まちづくり支援施設等整備事業（半崎地区）	事業番号	D-20-8
交付団体	市	事業実施主体（直接/間接）	久慈市（直接）		
総交付対象事業費	38,590（千円）	全体事業費	99,647（千円）		
事業概要					
<p>本事業は、文部科学省の「公立社会教育施設災害復旧事業」で復旧予定である地下水族科学館の管理棟に、防災教育施設（展示スペース）を整備するものである。</p> <p>久慈地域が受けた津波の被害状況、並びに、その被害からの復旧・復興の様子や国内外から受けた多大な支援の状況などをパネル等で展示し、地震、津波の恐ろしさを後世に引き継ぎ、防災意識の醸成を図るとともに、災害から立ち直る状況を示すことで、久慈市が受けた被害からの復旧・復興の過程を伝えることができる施設とする。</p> <p>また、これからの展望とあわせて、国のエネルギー施策やジオパーク、三陸復興国立公園についての展示を行い、三陸沿岸の魅力やエネルギー資源などについても学ぶことができる施設とする。</p> <p>同施設は、文科省補助により、管理棟の 1 階、3 階及び 5 階部分を整備するところであるが、さらに、復興交付金を活用して（復興交付金事業「産地直売施設整備事業」にて整備）、2 階部分に津波により流出した産直施設の機能を持たせ、久慈地域内外の交流拠点となる機能を備えることによって、地域活力の復興拠点として整備するものである。</p> <p>【施設規模】 地上 5 階建て 延べ床面積 1,280 m²程度</p> <p>本事業は、久慈市復興計画の「第 3 節 プロジェクトⅢ「交流人口を拡大する」」の「③観光産業の振興」の箇所地下水族科学館もぐらんぴあの整備に取り組むとともに、復興の動きと連動した観光誘客に努めることとしている。また、ジオパーク構想や三陸復興国立公園構想についても推進することとしている。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<平成 24 年度> 地盤調査、設計業務、本体工事					
<平成 25 年度> 本体工事					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災による津波により、地下水族科学館もぐらんぴあや隣接する産直施設は全壊、流出という被害を受けた。また、同じ半崎地区にあった久慈国家石油備蓄基地や、北日本造船久慈工場も壊滅的な被害を受けたところである。</p> <p>しかし、同地区においては、再生可能エネルギーの活用・供給拠点を整備する構想がある</p>					

ほか、湾口防波堤の整備によって久慈湾の静穏域が確保されれば、多くの船舶の入港が予想され、養殖漁業やマリンスポーツの拠点的な区域となり、市の内外から多くの方が訪れる場所となる。

このような、甚大な津波被害を受けつつも様々な人が集まる地区において復興の拠点となる施設を整備することで、津波の恐ろしさや復興までの過程などを地域の内外の方、及び後世に伝える必要がある。

※区域の被害状況も記載して下さい。

関連する災害復旧事業の概要

公立社会教育施設災害復旧事業（補助率2／3）

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--

(様式 1-3)

久慈市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	50	事業名	復興まちづくり支援施設等整備関連事業 (半崎地区)	事業番号	◆D-20-8-1
交付団体	市		事業実施主体 (直接/間接)	久慈市 (直接)	
総交付対象事業費	20,998 (千円)		全体事業費	52,500 (千円)	
事業概要					
<p>基幹事業の復興まちづくり支援施設等整備事業では、地震、津波の恐ろしさを後世に引き継ぎ、防災意識の醸造を図るとともに、災害から立ち直る状況を示すことで、久慈市が受けた被害からの復旧・復興の過程を伝えることができる施設を整備するところである。</p> <p>そのため、久慈地域が受けた津波の被害状況や、その被害からの復旧・復興の様子や国内外から受けた多大な支援の状況、並びに、国のエネルギー施策やジオパーク、三陸復興国立公園についての理解を深める展示を行うこととしており、その展示に必要なパネル展示等の整備及び消耗品等の購入を行なうものである。</p>					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度></p> <ul style="list-style-type: none">・展示設計、工事着手 <p><平成 25 年度></p> <ul style="list-style-type: none">・設置工事					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災による津波により、地下水族科学館もぐらんぴあや隣接する産直施設は全壊、流出という被害を受けた。また、同じ半崎地区にあった久慈国家石油備蓄基地や、北日本造船久慈工場も壊滅的な被害を受けたところである。</p> <p>しかし、同地区においては、再生可能エネルギーの活用・供給拠点を整備する構想があるほか、湾口防波堤の整備によって久慈湾の静穏域が確保されれば、多くの船舶の入港が予想され、養殖漁業やマリンスポーツの拠点的な区域となり、市の内外から多くの方が訪れる場所となる。</p> <p>このような、甚大な津波被害を受けつつも様々な人が集まる地区において復興の拠点となる施設を整備することで、津波の恐ろしさや復興までの過程などを地域の内外の方、及び後世に伝える必要がある。</p>					
※区域の被害状況も記載して下さい。					
関連する災害復旧事業の概要					
公立社会教育施設災害復旧事業 (補助率 2 / 3)					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-20-8
事業名	復興まちづくり支援施設等整備事業（半崎地区）
交付団体	久慈市
基幹事業との関連性	
基幹事業により整備される施設の展示物等を整備し、施設の充実を図る。	

(様式 1-3)

久慈市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	51	事業名	夏井駅前・大湊地区復興まちづくり支援拠点整備事業	事業番号	D-20-9
交付団体	久慈市		事業実施主体 (直接/間接)	久慈市 (直接)	
総交付対象事業費	24,183 (千円)		全体事業費	45,961 (千円)	
事業概要					
<p>大湊・夏井駅前地区は東日本大震災津波により、沿岸域を中心に甚大な被害が生じた地域である。</p> <p>当地区は住民およそ 500 人が居住するとともに 21 事業所におよそ 450 人の従業員が働いており、近隣の指定避難場所として大湊公葬地が指定されている。しかしながら、災害発生時大湊公葬地には建物がなく長時間の避難が非常に困難であることから、地域住民等が長時間避難できる避難場所の施設整備が求められているところである。</p> <p>この事業により、東日本大震災津波により損壊した夏井駅前大湊公民館 (類似公民館認定施設) を移転新築し、コミュニティセンターとして地域活動の拠点として活用されながら、津波等の災害時には地域住民や事業所従業員が避難できる場所として、集会室や調理実習室などで構成される施設を整備しようとするものである。</p> <p>【施設規模】</p> <p>木造平屋建て 延床面積 198.12 m²</p> <p>本事業は、久慈市復興計画の「第 1 節 プロジェクト I 「生活を再建する」の「①生活支援の充実」の箇所で損壊した類似公民館認定施設の整備を支援することとしている。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度></p> <p>用地交渉、測量、設計</p> <p><平成 25 年度></p> <p>本体工事</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>当地区は、東日本大震災の津波により区域の大部分が被災した。</p> <p>地区の津波避難場所として陸中夏井駅西側の大湊公葬地が指定されているが建物など屋内で待機できる場所がない。しかし、東日本大震災の津波では発災時には多くの地域住民が避難したものの、津波注意報の解除まで約 51 時間もの時間を要し、また公民館は被災 (大規模半壊) したことから、地区内の避難場所の確保が必要である。</p> <p>また当地域では、公民館を拠点に地域住民が主体的に地域住民間の交流会を開催するなど、地域コミュニティの活性化に取り組みを始めたところであったことから、平時にはコミュニティセンターとして地域の諸行事や防災教育活動にも活用されることから、ソフト面でも防災に寄与しようとするものである。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	